

1/2/2018

神奈川新聞

川 新 聞

第3種郵便物認可

介護悩み解決の一冊

川崎市宮前区野川のボランティアグループ「すずの会」のメンバーが今年発行した介護情報誌「タッチVI」(A4判、264頁)が、反響を呼んでいる。好評だった既刊の第1～5号に続く10年ぶりの第6号で、利用者の視点で地域の介護サービスや医療の情報を網羅。介護に悩む家族のほかに専門職からの引き合いも多いという。

(高本 雅通)

サービス、医療情報を網羅

20年間にわたり、多彩な高齢者支え合い活動を展開する「すずの会」代表の鈴木恵子さん(70)ら3人がまとめた。市内7区にある訪問介護など在宅サービスや特別養護老人ホーム、有料老人ホームなどのサービス内容や利用料金などの情報を集めて一覧にした。多くの事業者や施設を訪ね歩きながらまとめた労作だ。

健康づくりの場、移送や配食などの介護保険外の生活支援サービスのほか、認知症を往診する病院なども掲載した。今年6月に約2千部用意し、1部1200円で販売したところ口コミだけで約千部が売れた。

「タッチ」は2000年4月の介護保険制度スタートを見据えた1999年に第1号を発行。介護に追われ、情報不足に



地域の介護関連サービスを網羅した冊子「タッチVI」を手にする鈴木恵子さん
川崎市宮前区

「すずの会」メンバー 10年ぶり発刊、好評

なりがちな介護保険利用者向けに地域の必要なサービス情報を発信しようと始めた。内容を更新しながら2007年の第5号まで発行を重ねた。

鈴木さんは「06年の介護保険制度改正で情報開示が保険者の市町村に義務付けられ、私たちの役割は終わったと思った。でも介護を必要とする人に必要な情報が届いておらず、もう一度作成することにしたら」と話す。専門職や行政関係者からも「次はいつできるのですか」との声が寄せられていたという。

すずの会は、憩いの家でのデイクア(月2回)や入浴・食事・送迎付きの高齢者の居場所「すずの家」の運営(週2回)などの細やかな活動を通じ、高齢者や家族に寄り添ってきた。鈴木さんは「いざ介護が必要となつたとき、どのサービスを利用すればいいか困ってしまうもの。ぜひタッチのページを開いて活用してほしい」と話している。購入申し込みは、すずの会のホームページとファクス044(755)7367で受け付けている。

婚活イベントで
中小後継者確保

川崎 川崎商工会
所主催の婚活

イベント「いい出会い、KCI(愛)」が23日、川崎市川崎区の同商議所で開かれ、会員企業の事業主や業員など男女計50人が参加し、7組のカップルが誕生した。

中小・小規模企業が抱える後継者問題の解消や従業員の定着率を高めるのが

川崎

川崎市川崎区

通の沖縄料理をば「ゆんたく」で楽や食事を楽しんで、沖縄の戦争の歴史イベントが開かれる。

沖縄県沖縄市の菊農けんぎさん(33)が毎年同店で企画している「日」にちなんだイベントを知ってほしい」とともに川崎でも行うよ

生ごみ資

来月1月 農

負けず

宮前

サッカーJリーグ・川崎フロンターレが運営するフットサル

施設「フロンタウンさぎぬま」(川崎市宮前区)で27日、「冬遊び」イベントが開かれた。写真。子どもたちや保護者が多く訪れ、フットサルや穴の開いた的にサッカー

